

第2回槇川流域治水勉強会

開催状況

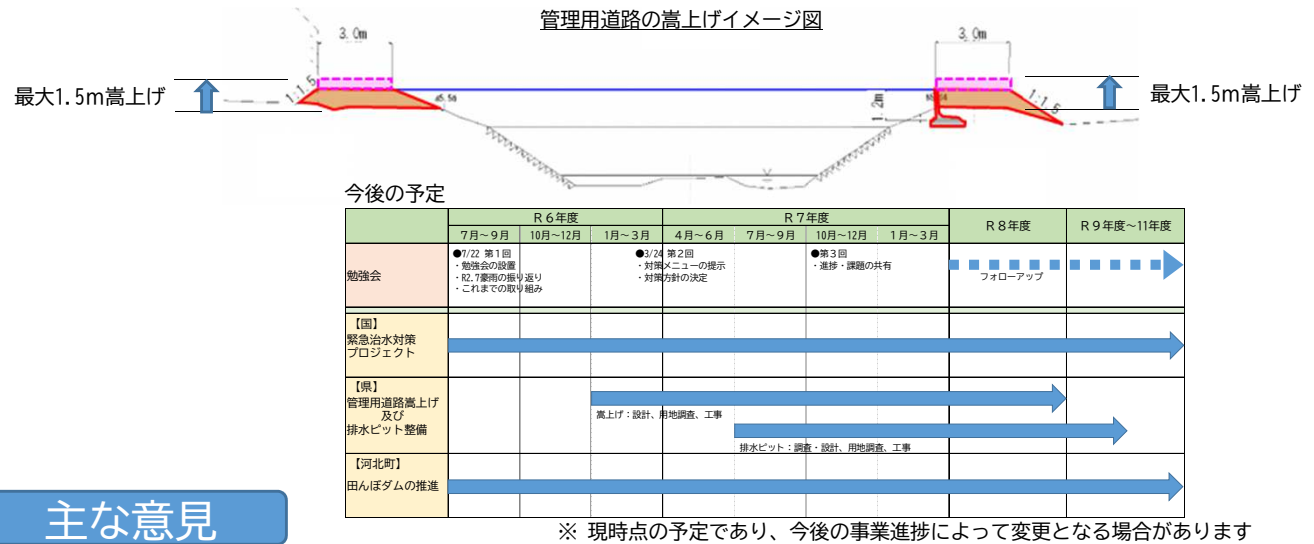
- 日時：令和7年3月24日（月）13:30～14:30
- 場所：河北町役場 301会議室
- 議題：
 - ・第1回勉強会の振り返り
 - ・これまでの取組（国、県、町）
 - ・槇川の内水被害軽減対策
 - ・今後の予定

出席者

- 河北町
 - ・森谷町長 ・河内副町長
 - ・須藤防災・危機管理監兼総務課長
 - ・真木防災危機管理課長
 - ・佐藤農林振興課長 ・土方都市整備課長
 - ・大泉上下水道課長
- 国土交通省 山形河川国道事務所
 - ・山影副所長 ・今野流域治水課長
- 山形県
 - ・県土整備部 佐藤河川課長、高橋流域治水推進室長
 - ・村山総合支庁（西村山） 鈴木建設部次長
 - 土田河川砂防課長
- 寒河江市
 - ・農林課 布施課長補佐 ・建設管理課 阿部課長補佐

勉強会で確認した点

- 【目標】「令和2年7月洪水規模において住家の床上浸水を解消する」
「できるだけ早く達成できる対策を関係機関が連携して進める」
- 【対策】
 - 国：最上川の緊急治水対策プロジェクトで水位を低下させる。
 - 県：槇川の管理用道路を現在の高さから最大1.5m嵩上げし溢水を防ぐ。
水防活動の強化のため排水ピットの整備について、検討を進める。
 - 町：流域で田んぼダムを推進し内水を軽減させる。



主な意見

- 【河北町】
 - ◆国・県・町の連携強化を図っていく。
 - ◆地元の住民の方には安全安心な生活が営まれることが目標であり、流域全体で連携して取組んでいく必要がある。町としても国、県の対策に協力していきたい。
- 【国土交通省】
 - ◆緊急治水対策プロジェクトでは、最上川の水位を下げる対策を進めている。水位を下げることで槇川の内水被害軽減につながる。
 - ◆気候変動対策には、雨水貯留対策等の流域対策を関係機関が連携して進める必要がある。短期的対策に限らず、中長期的な検討も重要。
- 【山形県】
 - ◆内水対策は槇川流域の特性を踏まえた対策が有効である。
 - ◆減災の取組みを関係機関と連携しながら安全安心の早期確保を進める。
 - ◆ハード・ソフト一体となった被害軽減の取組みを進めていく必要がある。

勉強会 開催状況



森谷町長挨拶



開催状況